

七ヶ浜グローバルPROJECT

～世界を見据えて、地域に根差す～

宮城県七ヶ浜町立小学校
英語コミュニケーション科
児童・保護者調査結果 報告書

令和5年3月

七ヶ浜町立 亦楽小学校

松ヶ浜小学校

汐見小学校

I 児童調査

調査の目的

この調査は、英語をツールとして用いるコミュニケーション力（英語を通して自分の頭で考え、自分の言葉で意見や考えを伝え合うことができる力）を育成することに臨み、英語コミュニケーション科の授業を「明るく楽しく面白い」の切り口で創り、「英語嫌いの児童を出さない」観点から振り返るとともに、①授業の精度を上げること②中学校英語科への土台を作ることに資するためのものです。

設問1 英語コミュニケーションの授業は楽しいですか。

《低学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令2	64%	25%	7%	4%
		89%		11%	
	令3	64%	25%	11%	0%
		89%		11%	
	令4	58%	22%	10%	10%
		80%		20%	
3年間平均		86%		14%	
松ヶ浜小	令2	83%	16%	0%	1%
		99%		1%	
	令3	79%	14%	7%	0%
		93%		7%	
	令4	71%	21%	5%	3%
		92%		8%	
3年間平均		95%		5%	
汐見小	令2	84%	14%	2%	0%
		98%		2%	
	令3	67%	29%	2%	2%
		96%		4%	
	令4	64%	28%	7%	1%
		92%		8%	
3年間平均		95%		5%	

【踏み込んだ聞き取り，記述による回答】

<p>[楽しい理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすく教えてくれるから ・外国のことを知ることができるから ・友達と英語で話すのが楽しい ・コミュニケーションが楽しいから ・人に伝えるのが好きだから ・どんどん学べて楽しいから ・歌やダンスが好きだから ・ゲームが楽しいから ・英語で話すのが好きだから ・友達同士でやるものが多いから、楽しく覚えられるから ・ケビン先生がおもしろくいろいろ教えてくれるから ・ゲームみたいな活動しながら英語を学べるから ・分からない時、ネイティブ先生が優しく教えてくれるから ・英語のゲームをすると友達と仲良くなれるから ・外国のことを教えてもらったり、学んだりするから ・英語を知れば知るほどおもしろくなるから ・英語を覚えるのが楽しい ・レベッカ先生やみんなと英語が覚えられるから ・いっぱい頑張りたいから ・レベッカ先生が大好き ・知らないことを知れて楽しいから ・選ばれるのが嬉しいから ・分かりやすく教えてもらっているから ・いろいろな英語を知ることができるから 	
<p>[楽しくない理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を覚えたり，言ったりするのが難しい ・ゲームの説明が英語で分からないから ・時間が長いから ・難しいから ・覚えられないから 	
<p>【低学年のまとめ】</p> <p>3年間を通して全ての小学校で「楽しい」と回答している児童が8割を超えている。「楽しい」と比べて2倍以上の児童が「とても楽しい」と回答している。①英語で話すことに対する好意や楽しさ ②英語という新しい言語を覚える楽しさ ③アクティビティを行うことの楽しさ ④ALTや友達と英語で話すことで関わることの楽しさ 等を理由として挙げている。</p> <p>しかし、「楽しくない」と回答している児童も少なからずいる。その理由としては、①覚えられない ②難しい 等を理由として挙げている。</p>	

《中学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令2	60%	35%	4%	1%
		95%		5%	
	令3	63%	33%	4%	0%
		96%		4%	
	令4	44%	44%	12%	0%
		88%		12%	
3年間平均		93%	7%		

松ヶ浜小	令 2	64%	32%	4%	0%
		96%		4%	
	令 3	56%	37%	8%	0%
		93%		8%	
	令 4	74%	20%	6%	0%
		94%		6%	
3 年間平均		94%		6%	
汐見小	令 2	62%	33%	5%	0%
		95%		5%	
	令 3	53%	35%	11%	1%
		88%		12%	
	令 4	55%	31%	10%	4%
		86%		14%	
3 年間平均		90%		10%	

【踏み込んだ聞き取り，記述による回答】

[楽しい理由]

- ・ゲームが楽しい
- ・ALT と英語で話すのが楽しい
- ・外国のことを知ることができる
- ・できないことをできるようになった喜びがあるから
- ・ゲームをしながら学習できるから
- ・外国のことを知ったら興味を持ったから
- ・外国と日本の違いを知ることが楽しいから
- ・日本語とは違う「新しい言葉」を知ってゲームを楽しめるから
- ・仲を深められるから
- ・みんなが楽しそうにしていると，自分も楽しいから
- ・分からないことを友達と教え合うのが楽しいから
- ・習ったことを話すと親に褒められるから
- ・分かることが楽しいから
- ・書いたり知ったりすることが楽しいから
- ・英語で話すと嬉しいから
- ・外国の文化と日本の文化を比較するのが楽しいので海外で自分の目で確かめたいから
- ・友達と学習できて嬉しいから
- ・コミュニケーションを大事にしたいから
- ・外国人の友達みたいにできて嬉しい
- ・早く覚えたい
- ・全部パワフル
- ・みんなのきずなが深められる
- ・外国人の転校生が来たら楽しく話したい
- ・ALT の先生が来るとやる気がする
- ・友達のことが知れる
- ・たくさん発言できるから
- ・将来のため
- ・楽しく勉強できるから
- ・みんなでめちゃくちゃ楽しんでいるから
- ・友達が何を好きか知れるから
- ・みんなと英語で、話し合うのが楽しいから
- ・コミュニケーションが楽しいから
- ・いろいろ英語を覚えられるから
- ・たくさん英語を言えてとても楽しい英語を話せるから

<ul style="list-style-type: none"> ・立ち歩いて友達と一緒に自分の気持ちや好きな物を伝えることができるから ・先生と話せるようになったから ・知らない英語を言えるようになるし、みんなと英語で話せるようになるから楽しい ・友達と本物の英語でしゃべれるから ・レベッカ先生との時間が楽しいから
<p>[楽しくない理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語より外国の文化を知りたいので、イングリッシュキャンプをしてほしいから ・難しいから ・分からないから
<p>【中学年のまとめ】</p> <p>3年間を平均して「楽しい」と回答した児童が9割を超えている。「とても楽しい」と答えた児童の割合は回答人数の5割以上である。①英語をコミュニケーションツールとして覚えたり、ALTや仲間と英語を話したりすることを通して関わることの楽しさ ②英語でコミュニケーションすることで友達のことを知ることができる喜び ③英コミの授業を通して外国の言語や文化への知識、そこから広がる将来への希望を考えることの楽しさを理由として挙げている。</p> <p>楽しくない理由としては、低学年と同様に「難しい」が挙がっている。</p>

《高学年》

校名	年度	とても楽しい	楽しい	少しだけ楽しい	楽しくない
亦楽小	令2	52%	46%	1%	1%
		98%		2%	
	令3	43%	47%	10%	0%
		90%		10%	
	令4	50%	35%	15%	0%
		85%		15%	
3年間平均		91%		9%	
松ヶ浜小	令2	27%	46%	24%	3%
		73%		27%	
	令3	40%	56%	4%	0%
		96%		4%	
	令4	62%	31%	7%	0%
		93%		7%	
3年間平均		87%		13%	
汐見小	令2	36%	48%	15%	1%
		84%		16%	
	令3	61%	34%	5%	0%
		95%		5%	
	令4	63%	30%	7%	0%

		93%	7%
3年間平均		91%	9%

【踏み込んだ聞き取り，記述による回答】

[楽しい理由]

- ・ゲームが楽しい
- ・友達とコミュニケーションを取るのが楽しい
- ・友達のことを知ることができる
- ・外国の言葉や文化を知ることができる
- ・これからの生活に生かせる
- ・ALT の話を聞くのが楽しい
- ・自分だけの資料を作って発表するのが楽しい
- ・書いたり、読んだりするのが楽しい
- ・友達の好きなことなどが分かるから
- ・男女問わず友達同士で伝え合うのが楽しいから
- ・文化のことをあまり知る機会がないので知れて嬉しい
- ・ゲームで覚えて楽しい
- ・面白いし楽しいし友達が増える
- ・外国のことが好きだしもっと知りたい
- ・書いて覚えられて嬉しい
- ・自分が「英語使える」と思って自信が付けられる
- ・クラブ発表をして、自分たちも知ってもらって楽しい
- ・発表も自分なりに楽しい
- ・先生が明るく楽しい
- ・友達と楽しく勉強して楽しい
- ・将来外国人に話し掛けられてあたふたするのは嫌だから、英語を覚えられるように頑張っているのが楽しい
- ・知らなかったことが分かり、学びが広がったから楽しい
- ・外国のことなど興味をもったことが自分で調べられて楽しい
- ・暗い雰囲気がなく好きだ
- ・先生が明るいから
- ・話すだけ書くだけではなく、楽しいゲームなどがあるから楽しい
- ・友達とのコミュニケーションが楽しい
- ・友達と意見交換して楽しい
- ・日本で知らないことがたくさんあるから
- ・英語を友達と話せて嬉しいしゲームが楽しいから
- ・みんなとコミュニケーションをとれるから
- ・自分が好きなことや好きなものを言えると楽しい
- ・英語が得意になると少しずつだけ言えるようになって楽しいから
- ・英語がわかってくると友達と英語で会話できるようになって楽しい
- ・クラスメイトと話す時が楽しいから
- ・雰囲気が、明るくて楽しい
- ・英語を通して友達の好きなことなどを知れるから
- ・英語の授業はとても分かりやすいし英語が喋れるのはとてもかっこいいから
- ・カードなどを使ったり紙に書いてみたりして色々な英語を知れるから

[楽しくない理由]

【高学年のまとめ】

「とても楽しい」と答えた児童の割合はどの学校でも前年度より上がっている。低、中学年と同様，3年間を通して多くの児童が「楽しい」と回答している。①英語を通して友達とコミュニケーションをとり，考えを交流することの楽しさ ②授業を通して外国の文

化を知る等の知識欲を満たし、思考を広げることの楽しさ ③授業の雰囲気が明るい、ALTの雰囲気が良いこと ④書くことの楽しさを挙げている。
書くことの楽しさを理由として挙げていることは高学年の特徴といえる。

設問2 英語コミュニケーションで「楽しかった」と感じる活動は、どんな活動ですか。

※複数回答

要素	活動内容		亦小	松小	汐小	
聞く	1 外国人の先生と本物の英語であいさつしたり、話したり、聞いたりする活動	低	R3	71%	45%	70%
			R4	61%	54%	63%
		中	R3	49%	51%	49%
			R4	41%	47%	34%
		高	R3	61%	33%	35%
			R4	48%	38%	40%
話す	2 友達同士で英語を使ってあいさつしたり、話したり、聞いたりし、「good job」などの言葉で友達のよいところを伝え合う活動	低	R3	88%	62%	73%
			R4	64%	50%	54%
		中	R3	48%	48%	58%
			R4	36%	70%	49%
		高	R3	61%	46%	59%
			R4	64%	57%	65%
聞く 読む	3 外国人の先生と英語のゲームなどで、数字や色の言い方、ものの言い方（果物やスポーツなど）を知る活動	低	R3	85%	84%	82%
			R4	72%	84%	79%
		中	R3	58%	76%	65%
			R4	59%	64%	72%
		高	R3	57%	53%	58%
			R4	62%	60%	75%
	4 友達どうして英語のゲームなど数字や色の言い方やものの言い方（果物やスポーツなど）を知る活動	低	R3	77%	71%	67%
			R4	70%	84%	77%
		中	R3	52%	69%	69%
			R4	54%	87%	78%
		高	R3	64%	61%	66%
			R4	70%	74%	84%
5 外国のことを知る活動	低	R3	54%	79%	57%	
		R4	69%	58%	37%	
	中	R3	27%	89%	45%	
		R4	21%	50%	54%	
	高	R3	52%	73%	37%	
		R4	34%	62%	42%	

書く	6 英語の文字（アルファベット）を書いたり読んだりする活動	低	R3	—	—	—
			R4	—	—	—
		中	R3	30%	31%	48%
			R4	28%	50%	42%
		高	R3	42%	36%	43%
			R4	31%	49%	36%

設問3 英語を使ってもっとできるようになりたいことはありますか。 ※複数回答

領 域			亦小	松小	汐小
1 英語で話せるようになりたい。 【話すこと】（発表）	低	R3	81%	88%	90%
		R4	75%	96%	87%
	中	R3	86%	82%	73%
		R4	79%	87%	78%
	高	R3	81%	81%	91%
		R4	80%	82%	82%
2 英語で簡単な意見発表ができるようになりたい。 【話すこと】（やりとり）	低	R3	58%	57%	75%
		R4	56%	56%	43%
	中	R3	29%	45%	46%
		R4	37%	47%	46%
	高	R3	39%	35%	45%
		R4	45%	45%	34%
3 英語を聞き取れるようになりたい。 【聞くこと】	低	R3	77%	88%	76%
		R4	68%	84%	75%
	中	R3	56%	79%	62%
		R4	57%	74%	76%
	高	R3	66%	76%	78%
		R4	68%	76%	72%
4 英語の文を書くことができるようになりたい。 【書くこと】	低	R3	81%	81%	74%
		R4	74%	56%	70%
	中	R3	49%	61%	58%
		R4	48%	67%	69%
	高	R3	60%	60%	58%
		R4	55%	62%	51%
5 英語の簡単な物語や漫画などが読めるようになりたい。【読むこと】	低	R3	70%	84%	63%
		R4	69%	60%	84%
	中	R3	41%	60%	53%
		R4	29%	67%	60%
	高	R3	45%	41%	62%

		R4	50%	49%	44%
--	--	----	-----	-----	-----

II 保護者調査

設問

《亦小》 お子さんにとって英語コミュニケーションは楽しい取組である。

《松小》 お子さんが1年生から英語コミュニケーションの学習に取り組むことは有意義だと思う。

《汐小》 お子さんは、英語コミュニケーションの授業を楽しんでいる。

学校名	年度	とてもそう思う	そう思う	思わない	まったく思わない	無回答
亦小	令和3	53%	41%	5%	1%	0%
	令和4	41%	49%	8%	2%	0%
松小	令和3	85%	13%	2%	0%	0%
	令和4	79%	19%	1%	0%	1%
汐小	令和3	45%	48%	5%	1%	0%
	令和4	47%	40%	12%	1%	0%

◎学校によって多少の設問の違いはあるが、この取組について、総じて保護者は好意的に受け止め、理解している傾向があると考えられる。

III 結果の総括

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症予防策を講じながらの授業となった。活動を制限せざるを得ない状況ではあったが、指導者の工夫によって「明るく 楽しく 面白い」授業のクオリティは保たれ、児童の英語コミュニケーション科で学ぶ意欲は高い水準を維持している。

また、踏み込んだ聞き取りや記述からは、児童が英語を話すことに楽しさを見出していること。英語を通して友達とコミュニケーションをとり、お互いを理解することに楽しさや満足を感じていること。さらに高学年では半数以上の児童が、英語の文を書けるようになりたいと思っていることが分かった。

以下、児童が英語コミュニケーションの何に喜びを感じ、何を期待しているのかをまとめた。

○：児童の実態 ◇：教師の実態

① アクティビティの内容の工夫

○単に競争意欲をかき立てるゲームではなく、友達と英語を話してコミュニケーションをとることができる内容のアクティビティに楽しさを感じている。

◇単元や1時間の学びに必要なアクティビティを配置し、児童の実態や学習状況に応じたアレンジを加え、活動の目的を明確にすることに重点を置き、指導を行った。

② ALTや友達との良好な関係の構築

○英語で自分の思いを伝え合う活動を通し、児童は客観的に自分自身を捉えたり、相手の

ことを知ったりできることに、楽しさを感じている。

- ◇「自己理解」や「他者理解」の視点からコミュニケーションを捉え、伝え合う、聞き合う場面の意図的な設定し、また内容を工夫することにより、児童がALTや友達と心地よい関係を築き楽しく学ぶ時間をもつことができた。

③4技能5領域を意識した活動

- これまで取り組んできた、「話す」「聞く」活動の積み上げに加え、昨年度から取り組んでいる「書く」活動や英語を「読む」活動を継続してきたことで、スキルアップしたいという意欲が増している。また、高学年で半数程度の割合ではあるが、英語を書いたり読んだりすることに楽しさを感じている児童がいる。
- ◇取組を重ねることで生まれた学年単位でのレベルアップに応え、授業に「読みたい」「書きたい」という知的欲求を満たす内容を盛り込んだ。また、町内小中学校で授業を見合う機会を設けることを継続的に行い、中学校での5ラウンドシステムへのつながりを意識し、授業づくりに生かした。

④肯定的な自己像の形成

- 英語コミュニケーション科の学び手からみた大きな特性は、「やってみよう」「間違ってももう一度やってみよう」というトライ&エラーの連続であることである。児童が安心して楽しみながら学べる環境と指導者との関係性がそこにはあり、自分のよさや相手のよさに気付けることに喜びや楽しさを感じている。
- ◇お互いが支え合うあたたかい学級風土と、英語を用いたコミュニケーションの楽しさが相乗効果となって、自己肯定感を高める時間となっている。
- ◇振り返りの時間に感想に加え思考的要素（Why～? Because～.）を取り入れ、学習のねらいを意識したことで、充実した学びにつながった。

本調査結果を、各学校各学級の児童が、どんな思いをもって英語コミュニケーション科の授業に臨んでいるのかを再認識し、児童の姿から今後の授業を考えていく一つの資料とする。

〈令和5年度の英語コミュニケーション科の授業で大切にしたいこと〉

※推進委員の意見を集約し、整理します。

○「明るく、楽しく、面白く」と「豊富な会話量の確保」

「明るく、楽しく、面白く」の切り口で「英語をシャワーのように浴びせ」かつ「豊富な発話量を確保」する授業を意識し、児童が英語を使って簡単なコミュニケーションができるようにする。

○英語の日常化

「Practice makes perfect.」のとおり、日常生活の中に英語コミュニケーション活動を意図的に取り入れる。例として、朝の健康観察、1日のスケジュール発表、委員会活動での英語放送、下校の放送、校内の掲示物に英語表記を増やすことが挙げられる。

○英語科4技能5領域を意識した指導

高学年では、これまで培ってきたコミュニケーション能力を4技能5領域の学びに活かす。特に、「読むこと」「書くこと」に関心をもたせ、基本技能を身に付けさせ中学校英語5ラウンドシステムの学び方につなげていく。

第6学年には英検5級の受験機会を与え、「何ができるようになったか」「何が身についたか」を振り返る機会とする。

○英語を通したコミュニケーション力の育成

「英語を通して自分の頭で考え、自分の言葉で意見や考えを伝え合うことができる力」の育成を図る。そのために、やりとりの必然性をもたせ、「話す」「聞く」双方向のコミュニケーション活動となるようにする。対話から、自己理解、他者理解が自然になされ、心地よい時間となるようにする。

○夢を持たせる単元の設定（異文化理解とICT活用）

英語の背景にある異文化理解についてプレゼンテーションやグループディスカッション等、豊富な話し合い活動に取り組みせ、その際ICT機器の効果的な活用を図る。知的欲求を損なわせないために、英語コミュニケーションに対する児童の期待を汲み、単元で習得する技能を提示し、目的意識を持たせた夢のある活動を展開する。

○「自分はALTとこんな授業を創る」というアイデンティティーの確立

ALTとの同僚性・協働性といった良好な関係性を築き保つ。ALTはネイティブ授業者として子供を主導し、担任は授業の基本案を作成したり学級の授業に向かう力の育成をしたりする。授業づくりと実践はALTと担任のティームティーチングで行う。また、小中学校間で授業を公開し、英語コミュニケーション科の授業を考える一つの機会とする。